

**戦争をさせない**  
Anti-War Committee of 1000  
**1000人委員会**

1000人委員会ニュースNo.31

(2015年8月18日号)

〒101-0063東京都千代田区  
神田淡路町1-15 塚崎ビル3階

TEL:03-3526-2920

FAX:03-3526-2921

## ■8.30 国会包囲 10万人 行動に集まろう！

8月30日には「戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！ 8.30国会10万人・全国100万人大行動」を行います。

国会周辺を10万人以上の戦争法案絶対反対！の怒りの声で埋め尽くし、安倍政権を退陣へ追い込みましょう！ また、この日は全国各地でも同時行動にとりくみ、全国で100万人の参加をめざしましょう。

総がかりの力で、戦争法案廃案、安倍政権退陣、政策転換実現を絶対にかちとりましょう！

**戦争法案廃案！  
安倍政権退陣！**  
8.30国会10万人・全国100万人大行動

**8月30日 日 14:00～**  
場所：国会議事堂周辺ほか  
※全国各地で同時行動にとりくんでください！

主催：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会

お問い合わせ先		
総がかり行動実行委員会		<a href="http://sogakari.com/">http://sogakari.com/</a>
戦争させない1000人委員会	TEL 03-3526-2920	<a href="http://anti-war.info/">http://anti-war.info/</a>
解散で憲法9条を壊すな！実行委員会	TEL 03-3221-4668	<a href="http://kyujokowasuna.com/">http://kyujokowasuna.com/</a>
戦争する国づくりにストップ！憲法を守り、いかに共同センター	TEL 03-5842-5611	<a href="http://www.kyodo-center.jp/">http://www.kyodo-center.jp/</a>

## ■戦争犠牲者追悼・平和を誓う 8.15 集会

8月15日、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で「戦争犠牲者追悼、平和を誓う 8.15 集会」(平和フォーラム主催)が開かれました。平和フォーラム・福山真劫代表が誓いの言葉の中で「今私たちの目の前で展開されている日本の政治の情勢を、みなさまに何と報告したらいいのでしょうか。8月30日は、『戦争法案廃案！ 安倍政権退陣！ 国会



祭壇に向かって追悼の言葉を述べる 1000人委員会事務局長の内田雅敏さん



10万人・全国100万人大行動』を計画しています。すべての勢力と連帯して、全力で頑張ります」と決意を述べました。また、民主党・近藤昭一衆院議員(立憲フォーラム代表)、民主党・阿部知子衆院議員(立憲フォーラム副代表)、社民党党首・吉田忠智参院議員がアピールを述

祭壇に献花して手を合わせる参列者(千鳥ヶ淵戦没者墓苑)

べました。内田雅敏さん（戦争をさせない 1000 人委員会事務局長）は、「今この国の政権は、再び戦死者をもたらす『戦争する国づくり』に向かって暴走しようとしています。日本が中国、韓国らアジア諸国からの寛容を得るためには何を為すべきか。集団的自衛権行使容認をして、米国と一体化することではないことは明らかです」と安倍政権を批判しました。炎天下の中、全員で黙とうの後、祭壇に献花を行いました。

## ■8.13 戦争法案反対 国会前連続集会（第 13 回）

8 月 13 日、戦争させない・9 条壊すな！総がかり行動実行委員会は 13 回目となる国会前木曜連続集会を開催しました。お盆休みにもかかわらず、戦争法案に反対する約 2000 人の市民らが結集し、抗議の声を上げました。

集会には多くの国会議員や学者も参加し、連帯のアピールを行いました。

「安保法案に反対する中東研究者のアピール」の呼びかけ人である栗田禎子

さん（千葉大教授）は、「中東研究者による声明を呼びかけたところ、一週間足らずで 105 名の研究者による賛同があった。違憲立法という点だけでもこの法案は廃案にするしかない。しかし同時に、手続き上の抽象論の問題だけでなく、日本とアジア諸国の関係が崩れてしまうという具体的な問題も私たち中東研究者は問題視している」と訴えました。

同じく「安保法案に反対する中東研究者のアピール」の呼びかけ人である黒木英充さん（東京外国語大教授）は、「エジプトで民主化運動が起きた時、『もうたくさんだ』というスローガンがあった。同じように、私たちを愚弄する安倍政権に対して私は『もうたくさんだ』と言いたい。この法案が通れば、自衛隊が中東で活動することにもなるだろう。そのリスクは非常に大きく、世界中の日本人も危険に晒す。この法案を断じて許してはならない」とアピールしました。

また、憲法学者の 1000 人委員会呼びかけ人の清水雅彦さん（日本体育大教授）は、「日本国憲法を作るに当たって GHQ は一院制を要求した。しかし日本政府の要求で二院制になった。



お盆休みでも反対の声は収まらず、約 2000 人の参加者が詰め掛けた



「戦争法案反対」の声を上げる参加者（8 月 13 日、衆議院議員会館前）

多数派の暴走を防ぐために、二院制のもとで参議院がある。その意味で、衆議院で強行採決された戦争法案に歯止めをかけるのが参議院だ。改憲派は押し付け憲法だと言うが、すべてが押し付けられたわけではない。国会外で私たちが声を上げ続ければ、参議院を勇気づけ、与党も揺さぶれる。共に頑張りましょう」と訴えました。

## ■ 「戦争法案」を葬ろう 8.6 集会

8月6日、戦争をさせない1000人委員会と立憲フォーラムの共催で、「『戦争法案』を葬ろう 8.6 集会」が衆議院議員会館で開催されました。集会では、民主党・参議院安保特別委員会理事の福山哲郎議員が委員会での審議の状況について報告しました。

講演では、「集団的自衛権について」と題して、元外務省・国際情報局長の孫崎享さんが講演しました。



多くの参加者で会場は満員となった（衆議院議員会館）



孫崎享さん（元外務省・国際情報局長） 集団的自衛権を巡る今回の法案がどうなるのか、はっきりとしたことはわからない。野党の頑張りで廃案になるのか、それともそのまま押し切られるのか。しかし、いずれにせよ国民の力が集団的自衛権を行使できないようにすると私は思う。安倍政権のように高い支持率を持っていた政権でさえこの法案によって潰れるような事態になれば、例え法案の枠組みができて次政権は集団的自衛権を行使できない。これが重要だと思う。

私は、戦争の悲惨さだけでなく、どうして戦争に向かってしまったのかを考えてみるべきだと思う。1941年、当時アメリカの国務次官だったディーン・アチソンは「わが国を攻撃すれば、日本にとって破滅的な結果になることは、少し頭を使えばどんな日本人にでもわかることだ」と言った。米国陸軍戦略研究所所長のラブレースは「日本が1941年に下した米国攻撃の決断はまったく合理性に欠け、ほとんど自殺行為であったと考えられる。アメリカは日本の10倍の工業生産力を持っていた。日本が米国と戦うと決めた歴史的事実を一体どう説明したらよいのか」とまで言う。しかし、考えてみてほしい。後世の人が私たちの世代を見て、「なぜ原発再稼働したのだ。なぜ集団的自衛権を認めたのだ。なぜTPPに参加しようとしたのか」と問うたら、答えられるだろうか。わかりきった、当然おかしいことを私たちはしようとしている。当時は、指導者が嘘や詭弁の説明をし、それを拡散する。国民が本来望まない方向にもっていく。そうして日米開戦にまで至った。ところが今は、安倍政権に対する批判が噴出している。今が一番、闘う時だと思う。

### 集団的自衛権行使の詭弁

集団的自衛権を行使するための詭弁の中で、一番滑稽なのは「国民を避難させている米艦を防御できない」というものだ。ジュネーブ条約には中立国の国民の安全な移動に関する規定があり、戦争当事国が中立国の人たちを攻撃するのは戦争犯罪だとしている。米務省領事部さえ「米軍運搬手段や軍事エスコートがついた輸送手段は現実というよりハリウッドの脚本である」と言っている。安倍政権はハリウッドの脚本で国民を騙そうとしているのだ。

また、「積極的平和外交」という言葉を戦後70年談話に出してくる可能性がある。積極的平和外交とは、日本が戦争に行く、ということだ。ジョージオーウェルの小説『1984』に「戦争は平和だ」という言葉が出てくる。まさに、安倍政権はこの小説の世界と同じことをしているのだ。実は、2005年の『日米同盟：未来のための変革と再編』という文書の中に「国際的安全保障環境改善のために自衛隊は協力すると日米合意した」とある。この時から自衛隊

を海外で使うことを決めていた。平和のためと言いながら軍隊を使う。イラク戦争では何十万という人が死んでいる。それに日本は入っていこうとしている。

### 中国の脅威を煽動

これから安倍政権は中国の脅威を煽ることに力を入れてくるだろう。確かに中国は力をつけている。今やGDPの購買力平価ではアメリカを抜いている。当然軍事力も増強している。だから不安なのはよくわかる。しかし軍事力を増強することと日本を攻撃することは必ずしも同じではない。尖閣諸島については、田中角栄と周恩来、鄧小平とその他の外務大臣の間で「この問題は棚上げにしておこう。日本が管轄している」という約束があった。外務省の栗山元外務次官、そして日中国交回復の時の条約課長が尖閣諸島の棚上げの暗黙の了解はあったと言っている。しかし、残念ながら今の外務省はその合意があったことさえ言えなくなってしまった。1990年くらいの外務次官が言ったことさえ覆すような日本になっている。尖閣諸島の問題がこじれたのは、石原知事が尖閣を東京都で買うと言ってからだ。その後、クリムナーという人が大変重要なレポートを出した。その中で、「アメリカは日本の政治的変化を利用し同盟を深化させるべきである。安倍氏は保守的な考えを持っている。それと日本の民衆の中にある中国への懸念を利用すれば、われわれは日本に対してやらせたいことができようになる」と述べられている。アメリカは、中国の脅威を煽ることで日本の防衛費の支出を増やそうとしている。多くの人は尖閣諸島で紛争があったら米国は助けてくれると思っている。安保条約第5条には、攻撃があった際、自国への攻撃と見なして憲法の枠内で行動する、とある。米国憲法では交戦権は議会にあるので、議会がOKと言えれば戦ってあげますよと言っている。領有権問題については、米国は日中どちら側にもつかないと言っている。今回の集団的自衛権行使容認に先立って改定された日米ガイドラインにも、島嶼防衛では米国は補完的役割をすると、1970年代からずっと同じことが書かれている。アメリカは尖閣に関してコミットしたことは何もない。

### 戦争しないシステムの構築

今、私たちは東アジアの平和を考える重要な時期に来ている。どんな国もタカ派とハト派がいる。中国にも軍国的な人々がいる。しかし、私たちがやらなければいけないのは、平和を築こうとする人たちと協力することだ。フランスとドイツがこれから戦争すると思っている人はいないだろう。それは、戦争をしないシステムを作り、将来に至るまで協力することが国民の利益となるように仕向けたからだ。この東アジアで平和を作れば、大きな経済圏となる。それがわかっていながら、なぜ意識的に紛争をするのか。

これからが頑張っていく時期だ。政治家にも限界がある。私たち国民がもっと頑張っていく必要があるだろう。

## ■8.6 戦争法案反対 国会前連続集会（第12回）

8月6日、戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会は、毎週木曜日に行っている国会前連続集会（第12回）を開催しました。広島に原爆が投下されてから70年目を迎えるこの日、集まった約3000人の市民らは、平和への強い思いを持って、戦争法案の廃案を訴えました。

集会に駆けつけたNPO法人自立生活サポートセンター・もやいの稲葉剛さんは、「安保法制を推し進める安倍政



議員会館前は約3000人の参加者で溢れ返った

権は同時に生活保護基準を引き下げ、人々の命と暮らしを支える社会保障制度を後退させ、さらに労働者派遣法を改悪することによって貧困を拡大させようとしている。安倍政権は自ら率先して、経済的徴兵制を拡大するための社会環境を整備している。戦後70年の夏に安保法案をぶつけてきた安倍首相が望んでいることは何か。それは私たちが歴史を忘却することだ。そうであれば、私たちは戦争の記憶を継承していくことで抵抗をしていけると私は考える。私が被爆二世として原爆の話をおから聴かされて育ったように、記憶を継承することで、戦争への道をくい止めることができる」と自らの思いを訴えました。

また、民主党の広田一議員（参議院安保特別委員）は、「参議院でも矛盾が噴出し、この法案の違憲性がどんどんと明らかになっている。原爆が投下された日の前日の審議で、中谷大臣が法理上は日本が核ミサイルを輸送できることを認めた。これは国民に対する挑戦だと言わざるをえない。参議院は超党派で闘うので、ぜひ皆さんの力を貸していただき、国民の声を大きくして一緒に闘っていきましょう」とアピールしました。

## ■8.4・8.11 とめよう！戦争法案 一斉街宣行動

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」は、8月4日と11日の夕方、都内で一斉街宣行動を行いました。

戦争をさせない1000人委員会は、有楽町駅イトシア前で街宣を行



8.30のチラシなどを配布した（8月11日）

り、街を行く市民や仕事帰りの会社員に戦争法案反対を呼びかけました。



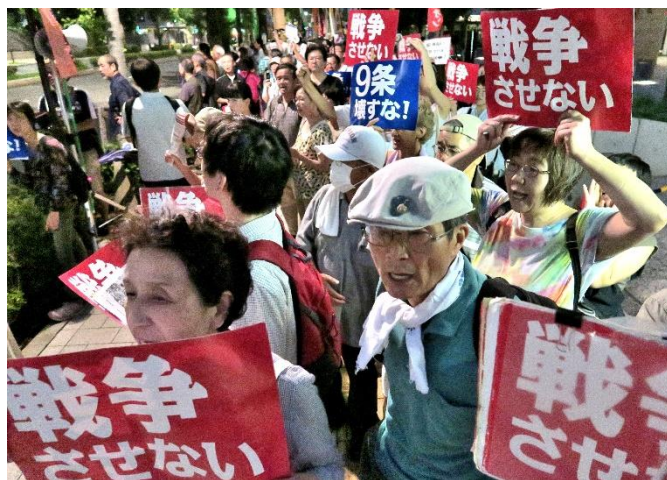
市民の方々も飛び入りで参加（8月4日）

「戦争をさせない1000人委員会」のメンバーを中心に多くの市民も飛び入りで参加しました。駅利用者や市民にチラシやリーフレットを配布し、約1時間の街宣を行いました。

## ■みなさんからのメッセージ

— 7.26 国会包囲行動に参加させて頂きました。救護の車、肖像権保障エリアの設定。大げさかもしれませんが、カウンター・デモクラシーの文化の新しい芽を感じました。今夏のバカンスはやめて、戦争法案反対行動に行きます。（東京都・女性）

— 戦争法案反対は、今や国民多数の声となっている。にもかかわらず、法案成立の危機が迫っているのは何故か。国会議員が国民の声を聴こうとしないからである。衆議院がそれを立証し、議員の多数が賛成して法案が可決したのである。国民の声・要求が、彼らに直接届いていない。残念ながら、選挙区での国民の国会議員に対する戦争法案反対の突き上げは、殆どなさ



国会前に抗議に詰め掛けた参加者（8月13日）

れていない。国会議員に直接交渉して戦争法案反対を確約させることこそが、今緊急に必要なのである。  
(男性)

— 平和憲法を守り、若者を戦場には行かせない！大人の責任です。二人の子供を必死で育ててきました。平和な人生を送ってほしいからです。  
(滋賀県・女性)

## ■集会・活動スケジュール

8月18日時点での予定です。日程変更や緊急の行動呼びかけをさせて頂くことがあります。行動の詳細は1000人委員会ホームページ、または「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」のウェブサイト <http://sogakari.com/> をご覧頂くか、事務局までお問い合わせください。

- 8月 20日(木) 16時30分～ 「戦争法案」を葬ろう 8.20 院内集会  
場 所：参議院議員会館1階・講堂  
講 師：姜尚中さん(東京大学名誉教授)  
主 催：戦争をさせない1000人委員会・立憲フォーラム
- 8月 20日(木) 18時30分～19時30分 戦争法案反対国会前集会(連続行動第14回)  
場 所：衆議院第2議員会館前
- 8月 25日(火) 18時00分～19時00分 とめよう！戦争法案 一斉街宣行動
- 8月 26日(水) 18時00分～ 安保法制等の法案に反対する日比谷野音大集会&パレード  
場 所：日比谷野外音楽堂 主 催：日本弁護士連合会
- 8月 27日(木) 17時00分～ 「戦争法案」を葬ろう 8.27 院内集会  
場 所：衆議院議員会館1階・多目的ホール  
講 師：浜矩子さん(同志社大教授)  
主 催：戦争をさせない1000人委員会・立憲フォーラム
- 8月 27日(木) 18時30分～19時30分 戦争法案反対国会前集会(連続行動第15回)  
場 所：衆議院第2議員会館前
- 8月 30日(日) 14時00分～16時00分 8.30 国会包囲10万人行動  
場 所：国会議事堂周辺
- 9月 3日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第16回)  
場 所：衆議院第2議員会館前
- 9月 10日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第17回)  
場 所：衆議院第2議員会館前
- 9月 17日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第18回)  
場 所：衆議院第2議員会館前
- 9月 24日(木) 18時30分～ 戦争法案反対国会前集会(連続行動第19回)  
場 所：衆議院第2議員会館前

### 「戦争をさせない全国署名2015」 第3次締め切り：8月31日

「戦争をさせない全国署名2015」は、第1次集約で165万8955筆を6月に提出しました。第3次集約の締め切りは8月31日(月)です。たくさんの署名をお待ちしております。